

第 41 回 中国環境問題研究拠点研究会

主催：NIHU 現代中国・総合地球環境学研究所・中国環境問題研究拠点

NIHU エコヘルス

共催：NIHU 現代インド地域研究・京都大学拠点・研究グループ 1「南アジアの人口・資源・環境」

日時：2015 年 6 月 10 日 16:30-18:30

場所：総合地球環境学研究所 セミナー室 1・2

アジアにおける持続可能な農業の構築とエコヘルスの可能性

中国を含めたアジア諸国では、農業の急速な近代化に伴い、化成肥料や農薬の過剰使用、灌漑システムの整備に伴う水需給の逼迫といった、環境の持続可能性にかかわる問題が顕在化するだけでなく、農業生産を支える農村の自然・社会経済環境も急速に変化している。また、現地住民は食の安全、生活環境の安全に対する高い関心を持っており、農業の持続可能性と人々のウェルフェアを両立させるためには、生産から消費に至るまでの農業システム全体を対象として、学際的視点から研究を進めていく必要がある。今回の研究会では、中国との関係が深くなりつつあるアジア諸国の農業、農村に関する研究報告を行うとともに、これを踏まえて、中国の環境問題への対応を幅広い視点から検討したい。

16:30 - 17:30

集約的農業の展開と持続可能性 —ベトナム・メコンデルタと南インドの事例から

佐藤孝宏 (人間文化研究機構 地域研究推進センター研究員)

要約：近年、急速な経済発展を遂げているモンスーンアジアの国々では、農業の集約化に伴い、その持続可能性に関する様々な問題が顕在化している。本発表では、水資源賦存量の大きく異なる 2 つの地域（ベトナム・メコンデルタと南インド・タミルナードゥ）を事例として、それぞれの地域における農業・農村の変容過程を描くとともに、その持続可能性をどのように考えればよいのかについて、幅広い視点から議論を行いたい。

17:30 -18:30

インド、タミル・ナードゥ州南部農村における生業活動と生活の変容

宮寄 英寿 (総合地球環境学研究所 研究員)

要約：南インド農村地域における牧畜及び乾燥地農業の変容及び生活変化に焦点を当てて、現地住民近代化農業生産への「適応」を報告する。

問い合わせ：総合地球環境学研究所・中国環境問題研究拠点 蔣 宏偉

mail: rihn-china<@>chikyu.ac.jp Tel: 075-707-2216